

#### SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

(様式第3号)

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001を取得済み(2003年度)				3.9		6	7					12	13.3	14	15			
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・弊社ホームページ上で環境に対する取り組み(環境方針)を開示													12.6					
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・工場の屋根上に太陽光パネルを設置し、クリーンエネルギー使用に努めている									7.2				13					
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・弊社表面処理(アルマイト)工程において処理時に使用された水については循環、中和され有事(消火用)のタンクも貯蔵、再利用される仕組み(貯蔵量を超えたものは排水) ・アルミニウムの鋳造生産コア技術としており、実際の生産活動においては、不要部分(製品以外のゲート部分など)を再溶解し、再利用している												12.2	13	14	15			
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、就業規則を周知															16	16.5		
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為を含む行動規範を整備し、周知している															16			
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産権の保護として商標等の取得、管理									8.2 8.3	9								
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報の管理ルールを定め、関係者に周知した上で適切に管理している														16				
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・顧客要求対応に伴い定期的な調査を実施															16			
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先基本契約の要綱に基づきサプライヤー チェーンと適切な事業協力体制を構築 ・サプライチェーンの管理面や経営状態、環境への取組みなどを観点とした定期監査(1/3Y)を実施 ・書面上の定期的なサプライヤー評価も実施(1/Y)						5		8	10		12	13	14	15	16	17		
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品を保証する為の仕組みとして、ISO9001要求事項に準拠した社内マニュアルや標準類を整備し生産活動を展開			3.9									12.4						
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・ISO9001を取得済み(2004年度)									9									
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・環境に配慮した生産活動をする為の仕組みとして、 ISO14001要求事項に準拠した社内マニュアルや標準類を整備し生産活動を展開						6					12	13	14	15				
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・自動車や建設機器などの部品生産で培った技術を基に医療や暮らし(環境)に関わる製品の生産、開発などに取り組んでいる (例)空気清浄:ナノード、地盤調査部品、医療用MRI部品、風力発電用部品など	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取扱認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取扱認証があれば、併せて記載してください。)																	
32	□ 地域貢献・ 社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・工場内に地域の方が利用できるレストランを設置し広く周報している ・工場周辺の地域の道路清掃活動を実施 ・水質や騒音の定期的な自主測定、監視を実施				4					9	11	12		14	15		17	
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・AEDを周辺地域の方が利用できるよう登録・情報公開 ・県の消防団協力事業所表示制度に加入 ・地域の次世代を担い人材に職業体験の場を提供 (学校の企業見学、就労体験受け入れなど)				4							11		14	15		17	
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地域企業、地域連携により製品の開発製造を行い、地産外商をしている（佐久産業支援センターや商工会議所、加盟企業との連携）									8	9	11	12	13				
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・社員バースポートとして全従業員に紙で発行 ・上記バースポートに経営理念を明文化し周知 ・全従業員に説明し、共有									8	9						17	
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・職務分掌規程を整備し、組織が管掌する法令について遵守する体制を構築																16	
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・環境業務権限規程を整備し、責任者、責任部署の責任と権限を明確にする体制とその運用実施																16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・自社の活動がステークホルダーに与える影響を把握し、適切な対応実施															16	17	
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・TOP(社長)が策定する中長期経営計画の中で広範なリスク(経営全体に影響するリスク)のピックアップを実施 ・上記TOP方針として各部門へ説明(&配布)され、各部門方針書へ反映 ・各業務プロセスにおける安全衛生面のリスクについては部門単位でリスクアセスメント実施															16		
40	□	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・ホームページ上に会社の経営理念、各方針、行動指針、会社の目的、社長自身のコメントについて公開 ・上記コンセプトに基づいた企業活動を展開															16		
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・事業継続力強化計画について認定を取得（2020年）									9	11	13	13.1			16		
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・部長職を対象に事業継承に必要なスキルアップを図った上で2023年新任取締役を任命									8	9						17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地球温暖化の抑制に貢献します	・CO2排出量を売上高比で38%削減（2013年度比）		3									11	12	13				
階層別教育の充実を図ると共に、資格取得に挑戦できる職場環境をつくります	・技能検定20名取得に挑戦します ・ビジネスキャリア検定10名取得に挑戦します ・外部研修の活用を図り、年間50回の受講を行います		3	4				8	9									
地元企業、地域連携により、製品開発を行います	・製品開発を7商品実施します		3					8	9									

## 【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぱし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）